

韓国農林畜産食品部プレスリリース（2018年4月23日18時00分付け）

全国偶蹄類の家畜市場再開（4月24日）

-口蹄疫発生以来、4週間（3月27日から4月23日）閉鎖、再開後の消毒・点検の強化-

出典URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwFmcmEIMkY2OCUyRjMxNzQ1NyUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIMQIMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJTI2cGFzc3dvcmQIMQIMjZcmNoQ29sdW1uJTNEJTI2cGFnZSUzRDEIMjZyZ3NGZ25kZVN0ciUzRCUyNnJvdjUzRDEwJTl2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTl2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳などに基づく仮訳）

- 農林畜産食品部（以下、「農食品部」）は、3月26日に金浦地域で口蹄疫が発生したため4週間（3月27日から4月23日）閉鎖された「全国の偶蹄類の家畜市場」を4月24日（火）から正常に再開すると明らかにした。
 - 全国家畜市場は、口蹄疫発生直後の2週間（3月27日から4月9日）の間閉鎖したが、金浦で口蹄疫が追加発生（4月1日）し、感染抗体（NSP）が検出された（8件）ことにより、全国の豚のワクチン接種状況（4月末までに予定）を考慮して、追加の2週間（4月10日から4月23日）の間延長した。
 - 農食品部は閉鎖期間中に農協消毒車などを動員して、全国86カ所の家畜市場内外の通行路、係留施設等について大掃除と一斉消毒を実施し、点検隊（検疫本部、自治体、農協）を編成し、消毒設備適正設置等の防疫実態を点検した。
- 食品部は、家畜市場再開以降、全国的に家畜と畜産車両の移動の増加が予想されることをうけ、地方自治体と農協防疫車を動員して、家畜市場の消毒を強化し、点検隊を編成して、現場の防疫実態を定期的に点検する計画である。
 - 口蹄疫ワクチン接種家畜に限り、家畜市場を通じて取引が可能であり、農場および家畜市場出入り前後の家畜運搬車などの洗浄と消毒をより徹底することを要請した。
 - さらに、これまで牛市場の閉鎖に伴う不便にもかかわらず、口蹄疫の拡散を防止するために積極的に協力してくださった畜産関係者の方々に感謝を表した。